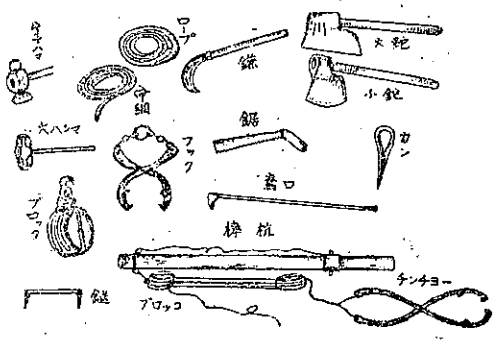
彙　報

洪水による橋脚の傾倒防止設備として流木處理階段の加設

池　田　好　比　古*

1.　河川の洪水に當り流下する樹木，木材，筏等が，橋脚に引掛り，逐次河幅は狹くなり，從て水量は累增し，爲めに橋脚は下流に强く押壓され，遂に傾斜又は倒壞し，其損失の甚大なる事は，古くより苦驗を重ねる所なり。

圖-1.　出動用道具類



凡そ洪水の慘禍は，其忘れられたる頃に周期的に發生する歷史あり，古來每年全國の何れかの河川に於て橋の傾斜，流失の被害を繰り返しつゝあるに鑑み，此際萬障を排して，施設を完備するの重責あるを痛感す。

2.　本案は引掛り木を完全に處理し得べき，流線型階段を從來の橋脚に加設したるものにして，洪水時には豫め配屬せる，洪水番人をして備付けの器具を持つて階段に待機せしめ引掛る木筏類の排除處理をなし，以て橋脚を完全に保持せんとするものにして，之を流木處理階段と名く。

3.　本工事は鐵道橋，國道橋等，既設の橋の上流方面の脚に，階段を加設するものにして，概ね鐵筋コンクリート造りを可とす。時局下資材セメント鐵筋等を調達するに苦心せらるゝ所なるも，一旦破壞せられたる慘害を思へば，轉ばぬ先の杖として，重要なる橋梁には，是非架設を望む次第なり。

圖-2.　人道橋脚に架設する圖

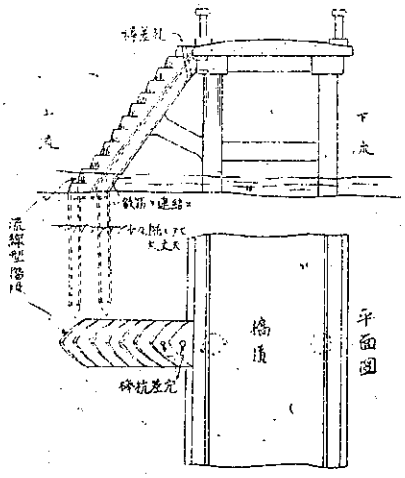
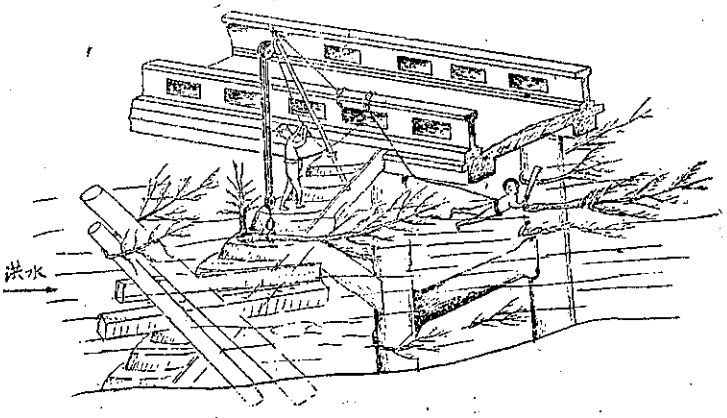


圖-3.　洪水時流木を處理する圖



*　小野田セメント製造株式會社技師